

成長のあと

①先日、学校運営協議会の会合の中で、ある委員さんがこんな話をされました。

今年の8月、農作業をしていたときに、西小の何年生か分かりませんが、男の子が私に話しかけてきてね、「こんにちは。暑いですね。体に気をつけてがんばってください。」って言ってくれたんですよ。感激しました。元気が出ました。あいさつの大切さを改めて感じました。

この話をお聞きしてうれしくなりました。日頃、子どもたちに「先生たちばかりでなく、地域の方にもあいさつをしようね」と言っていますが、きちんとあいさつができたこと、そればかりではなく、自分で考えて、相手の身を気遣う言葉を言うことができたこと、素晴らしい子どもに育っているなと思いました。

②1週間ほど前、5年生のR君が私に話しかけてきました。

R君：校長先生、ぼくは納豆が大好きなんです。納豆があるとご飯2～3杯いけます。

私：いいね。私も納豆好きだよ。

R君：納豆に〇〇を混ぜると最高ですよ。(〇〇が何だったのか失念しました。すみません)

校長先生は？

私：「卵かけ納豆ご飯」だな。

R君：あっそれぞれ、うまいですよ。ぼくも大好きです。

はじめに生卵を・・・。

(以下、しばらく納豆談義が続きましたが、省略します。)

ありふれた日常会話かもしれませんが、R君は自分の関心があることについて、相手の考えを受け入れながら自分の考えを

述べています。大人と互角に会話ができるR君に感心しました。

2つの実話を紹介しましたが、どちらも子どもたちに身につけてほしい力が育っている例なのです。①も②も、自分の考えで、自分から進んで会話をしています。本校では身につけてほしい力を合い言葉の「すなお」で示していますが、「すなお」の「す」「すすんでとりくむ」つまり主体性が育っています。そして、もう一つ、年の離れた大人ともうまくコミュニケーションがとれています。「すなお」の「お」「おもいやり」つまり人間関係力が育っているということです。

身につけてほしい力は、テストの点数だけでとらえられるものではありません。日常の何気ない言動の中にも見いだすことができます。2つの実話から子どもたちの成長を感じた学期末でした。

* * *

子どもたちのよりよい成長を促すためには、家庭、地域、学校がそれぞれの持ち味を生かすとともに、相互に補い合いながら教育を進めていくことが有効だと考えています。前述の2つの事例はその賜だと思えます。

保護者・地域の皆様には、子どもたちのためにこの2学期もたくさん応援していただきました。心よりお礼申し上げます。

西小フェスタは、コロナ感染防止のため、PTAのご協力を得て、保護者様へはYouTube配信にて開催する予定です。視聴方法等詳しくは3学期にお知らせします。

ご寄贈いただきました

☆人吉球磨労働者福祉協議会及びこくみん共済coop熊本推進本部様から「7歳の交通安全マップ」と黄色い横断旗をいただきました。(11/18)
7歳の子どもたちは、他の年齢の子どもたちに比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。1年生の交通安全指導に活用させていただきます。ありがとうございました。なお、同マップはダウンロードすることができます。「7歳の交通安全プロジェクト」で検索してください。

☆JAくま茶業部会様から、町内全小中学校にお茶(粉)をいただきました。(12/13)
ありがとうございました。お茶の飲用やうがいによる感染症感染抑制への活用が期待されるほか、お茶には、消臭効果や殺菌効果もあるそうです。お茶の力すごいですね。

1月の主な行事予定

- 10日(火) 3学期始業式、5・6年5時間授業(弁当)
- 11日(水) 発育測定(低学年)
- 12日(木) 発育測定(中学年)委員会活動
- 13日(金) 発育測定(高学年)
- 16日(月)～20日(金) 給食週間
- 17日(火) 避難訓練(地震)
- 18日(水)・19日(木)・20日(金) 諸費納入日
- 19日(木) 学力充実タイム
- 26日(木) 振替休業日
- 27日(金) 西小フェスタ準備
- 28日(土) 西小フェスタ、弁当日
- 30日(月) 委員会活動